

中国労働衛生協会

健康経営上位法人に 2年連続認定果たす

公益財団法人中国労働衛生協会（福山市引野町五一―一四―二、宮田明理事長）は3月9日、経済産業省と、日本健康経営優良法人2022の「健康経営優良法人部門で、上位五〇〇法人に当たる「ホワイト五〇〇」に二年連続で認定された。



健康経営は従業員の健康管理を経営的視点から戦略的に実践し、企業価値向上につな



げるもの。優良法人認定制度では、地域の健康課題に即した取り組みなど優れた健康経営を実践している大企業と中小企業を顕彰している。

今回は二二九九の大規模法人と一万二二五五の中小法人が認定された。広島県内でホワイト五〇〇に認定されたのは同協会のほか、㈱アンフィニ広島（広島市）と㈱広島銀行（同）の三法人で、県東部では同協会のみ。

同協会は2018年に認定に初挑戦したが、惜しくも逃

した。19年はホワイト五〇〇、20年は五〇〇位には入らなかったが大規模法人部門で認定。昨年、ホワイト五〇〇に返り咲いた。

認定に向けて推進チームⅡ写真Ⅱを結成し、職員一丸となって努力したという。「認定のための質問内容は年々難しくなっており、数値化しにくいものもたくさんあったが、チームの工夫で二年続けて乗り切ることができた」と宮田理事長。

今回は主に、運動習慣の定着▽食生活の見直し▽ワークライフバランスの実現▽禁煙率の低下について数値目標を設定し、取り組んだ。同協会には医師・看護師・保健師・管理栄養士・ヘルスケアトレーナー・健康経営アドバイザーなどがそろっており、多職種連携による活動も高く評価された。

同協会では、地元企業の健康経営のサポートも行っている。協会内に東京商工会議所認定の「健康経営エキスパートアドバイザー」Ⅱ写真下Ⅱが一五人おり、これは日本トップクラスとされている。21年度に同協会が支援した一三法人は、全て健康経営優

良法人の認定を受けた。

「当協会は発足当初から産業保健の支援を業務としてしており、いわば健康経営のプロ集団。生き生きと働ける環境をつくれれば、組織の生産力・ブランド力・活力がアップする」と宮田理事長。

健康経営支援は、初期費用五万五〇〇〇円から。ヒアリ

ングの上で講演や研修などを実施する。企業の規模や内容によるが、経費は総額で一〇万円前後。宮田理事長は「小さな積み重ねが大きな成果につながる。地元企業の皆さんにも健康経営に取り組んでもらいたい」と話している。

問 ☎084・941・8211